

【症例10】 20歳代,男性, 耳下腺.

画像所見：超音波にて嚢胞部分と充実性部分を含む約3.5cm大の腫瘤を認めた.

臨床所見： 5ヶ月ほど前より右耳下腺腫脹を自覚.  
右耳下腺部に3.5cm大の弾性硬、可動性不良な腫瘤が認められ、穿刺吸引細胞診を施行.

標本作製方法：直接塗抹標本

# 第一選択肢 推定鑑別診断

1. 非腫瘍性嚢胞
2. 嚢胞腺腫
3. 好酸性細胞腫瘍
4. 腺房細胞癌
5. 低悪性度粘表皮癌

# 第二選択肢 ミラノシステム診断区分

- 1.不適正
- 2.非腫瘍性
- 3.意義不明な異型(AUS)
- 4.良性腫瘍
- 5.良悪性不明な腫瘍(SUMP)
- 6.悪性の疑い
- 7.悪性

【症例11】 30歳代,女性, 耳下腺.

画像所見：超音波にて辺縁整,内部ほぼ均一で,血流の乏しい約2 cm大の腫瘍を認めた.

臨床所見：2年ほど前より左耳下腺部に腫瘍を自覚.  
徐々にサイズ増大あり.  
左耳下腺部に弾性硬の腫瘍触知し,穿刺吸引細胞診を施行.

標本作製方法：直接塗抹標本

# 第一選択肢 推定鑑別診断

- 1.壊死性唾液腺化生
- 2.筋上皮腫
- 3.多形腺腫
- 4.唾液腺導管癌
- 5.多形腺腫由来癌

# 第二選択肢 ミラノシステム診断区分

- 1.不適正
- 2.非腫瘍性
- 3.意義不明な異型(AUS)
- 4.良性腫瘍
- 5.良悪性不明な腫瘍(SUMP)
- 6.悪性の疑い
- 7.悪性

【症例12】 60歳代,男性, 顎下腺.

画像所見： PETCTにて左顎下腺内の結節にSUVmax～8.6の集積が認められた.

臨床所見：大腿部軟部腫瘍（高分化型脂肪肉腫）の精査中に,PETCTで左顎下腺腫瘍を指摘.  
左顎下部に,弾性軟,可動性良好な約1.5cm程度の腫瘍を触知し,穿刺吸引細胞診を施行.

標本作製方法：直接塗抹標本およびLBC

# 第一選択肢 推定鑑別診断

1. 多形腺腫
2. 好酸性細胞腫瘍
3. 腺房細胞癌
4. 唾液腺導管癌
5. 多形腺腫由来癌



# 第二選択肢 ミラノシステム診断区分

- 1.不適正
- 2.非腫瘍性
- 3.意義不明な異型(AUS)
- 4.良性腫瘍
- 5.良悪性不明な腫瘍(SUMP)
- 6.悪性の疑い
- 7.悪性